

## 会 議 録 (要旨)

会 議 名	行政評価委員会第20回行政改革推進分科会
開 催 日 時	令和4年5月24日(木) 午後3時から午後4時10分まで
開 催 場 所	瑞穂町役場 庁舎会議室2-2
出席者及び 欠 席 者	出席者:中村分科会長、石川副分科会長、関谷委員 事務局:宮坂企画部企画政策課長、渡辺企画推進係長
議 題	1 第6次行政改革大綱実施細目の令和3年度進捗状況について 2 その他
配 布 資 料	・(資料1)行政改革の実施状況の概要(主な取組事例) ・(資料2)第6次瑞穂町行政改革大綱実施細目令和3年度進捗状況等報告書総括表 ・(資料3)第6次瑞穂町行政改革大綱実施細目令和3年度進捗状況等報告書個表
傍 聴 者	なし
審 議 経 過 (主な意見等 を原則として 発言順に記載。 同一内容は一つに まとめた。)	<p>1 開会 企画政策課長挨拶</p> <p>2 議題 (1)第6次行政改革大綱実施細目の令和3年度進捗状況について ○事務局から資料の確認と配布した資料に基づき説明、報告</p> <p>(2)その他</p> <p>○各委員からの意見及び質問並びに事務局の回答 【資料3について】 (石川副分科会長) 全体の記載方法について、今回の資料全体について言える事だが、「計画の取組の状況」の内容説明で、対応の課が多数に及ぶ場合に、どの課が取り組んだものなのか判らない記述となっている。改善を求める。 (事務局) 今回、第6次行政改革大綱の初年度の計画のため、書式についても新たな様式で作成させていただいた。町全体としての進ちょく調査という意識で記載していたが、確かにわかりづらい箇所もあり、委員の皆さんにお知らせする際、今後の検討課題とし、記載を改める。</p> <p>(石川副分科会長) 1-1「住民からの意見募集や町長への手紙などの広聴機能の充実」についての質問だが、町長への手紙、各課への問い合わせについての実績数を教えてほしい。 (事務局) この質問に関するページは、資料の3 1ページ目で、令和3年度は町長の手紙は、272件、各課への問い合わせは457件である。参考として、令和2年 町長の手紙 192件 各課への問い合わせ 456件</p>

令和1年 町長の手紙 132件 各課への問い合わせ 193件  
平成30年町長の手紙 140件 各課への問い合わせ 253件  
平成29年町長の手紙 112件 各課への問い合わせ 209件  
となっていて、近年とても増えている状況である。

特に、令和2年度・3年度において非常に多くなっている状況だが、手紙の内容及び問い合わせの件について多かったものが、新型コロナウイルスに関連する施策の状況、新型コロナウイルスワクチン接種事業について、次いで、瑞穂モールの閉店が特に多かった状況となっている。

(石川副分科会長)

続いての質問だが、1-2「多様な情報発信手法の検討」からで、昨年度、町の男女共同社会推進講演会で SDGsをとりあげた。その際、終了後には今後もSDGsについて考えたり、SDGsに実際に取り組む活動事業や行動目標が欲しいという意見があった。

この事は児童生徒への教育としても、また社会人生活のあり方としても意義があると思うが、推進する取り組みへの考えはあるか。

(事務局)

SDGsについては今年度より、企画政策課企画推進係の事務分掌に明記、規定された。まず、内部的な話になるが、今年度から、町長をはじめとする3役へ報告する会議、町の最高意思決定機関「庁議」の資料の様式に、SDGsの取組目標のロゴを入れ、職員にもSDGsへの意識付けを行っている。

活動事業や、行動目標まではまだ至らないが、ご質問にあった講演会での講師と連絡を取り、今年度中に職員への講演等何かできないかと検討しているところである。

SDGsについては、企画政策課でも重要であると認識しているため、社会情勢を踏まえて、周辺自治体の状況を確認しながら、進めていきたいと考えている。

(石川副分科会長)

2-1「協働施策の展開」から、総合防災訓練でのタオルで知らせる安否確認で、確認できた住民数はどれくらいか。

(事務局)

こちらについては、担当課に確認したところ、R3年度はコロナ禍の影響もあり、安全・安心課の職員が目視で確認した範囲で、257軒中、89軒(34.6%)であったとのことである。

なお、R2年度については、町内会からの報告をお願いし、7,032 軒中 2,796 軒(39.8%)とのことである。

(石川副分科会長)

5「行政経営改革に対応できる機能的な組織の整備」全体に関することにもなるが、ワークライフバランスの推進は重要であり、女性管理職の増加にもつながっていく。一方で、処理能力の高い者にばかり要務が重なり負担が集中してしまう事

例もある。この事を改善していく方策についてはどのように考えているか。

(事務局)

この問題については、仰る通りワークライフバランスの推進は重要であると認識している。処理能力の高い者にばかり要務が重なり負担が集中してしまうこともあるというお話も理解している。また、それに加え、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)から、職員の配置についても固定されていないかといった懸念等もあり、難しい問題であると考えている。この問題については、行政改革において継続されている課題である。

ワークライフバランスの観点からは各管理職から積極的に声掛けを行っている状況だが、職員担当、協働推進課ともに状況は理解している。改善につとめていきたい。

我々、企画政策課の観点で言えば、デジタル化も進めているところであり、行政改革を通じて、事務の改善を図っていきたいと考える。

また、現在女性管理職は3名(管理職32名中)であり、近年の状況から見ると比率的には多い状況だが、引き続き働きやすい環境の構築を目指す。

(石川副分科会長)

5-4「窓口業務の利便性向上に向けた検討」では、庁舎内の総合案内や住民課窓口担当サービスの内容はとても良いと思う。他部署にも及ぶようにしたいが、部署によっては、新庁舎の配置について窓口が狭い、京都の町屋のような配置構造のため、来客に気付きにくい場合がある。対策を聞きたい。

(事務局)

こちらについては、現状各課で対応しているところだが、新庁舎になり、OAフロア、グループデスクを採用し、窓口から遠い職員もいるのが現状である。

対応として、自発的に窓口で窓口表示、事務分掌の案内を掲示し、住民の方にわかりやすい状況を作っていた。

昨年度までの企画課でも自席から、来客が見えづらいという問題があり、その際は、各自そのことを理解し、課内で共有、意識し合って対応していた。

特に1階フロアにおいては来客数が多いことから、総合案内窓口と協力して対応させていただいている。

(石川副分科会長)

6-1「行政手続きにおけるデジタル化の研究・検討・実施」から、町の体育施設のネット予約について、当町の予約システムへの個人登録で、登録カードが発行されるまでには、申請時と、10日ほどたって審査後のカード受け取り時と2回行く必要がある。

他市では申請してその場で直ちにカード発行できる所もある。(入間市、飯能市、狭山市等)

何度も行かずに済むようにして、住民の負担の軽減を図るのが充実した住民サービスだと考えるが如何か。

(事務局)

こちらは、施設予約ではなく、個人登録の質問をいただいたと理解して回答させていただきます。

町の体育施設の予約については、施設の予約とは別に、個人登録が必要だが、仰る通り本人確認に1度来ていただき、カードの受領にもう1度来ていただくようになっている。

こちらを行っている理由として、施設の使用料・利用料が、町内と町外の方で違うために行っている現状がある。

委員のお話のとおり、何度も行かずに済むようにして、住民の負担の軽減を図るということは、やはり、他からもお話があり、担当課でも認識しているところである。

施設の使用料、利用料のことも含め、今後も検討を重ね、住民サービスの向上に努めていきたいと考えている。

(石川副分科会長)

6-3「マイナンバーの利活用促進」についてマイナンバーカードの申請窓口で、私の場合、以前にマイナンバーカードを登録済みであったが、その登録時に不備があったようで、カードに不具合が発生し先日、再発行の手続きをする事になった。その際のマイナンバー担当窓口の対応が良くて、人権を尊重されているという感じを持つことが出来た。嬉しい。

(事務局)

窓口の対応が良かったとのお話をいただき、感謝する。原課の方にもお伝えさせていただきます。マイナンバーカードの取得については、国が行っているポイントの取得の話もあり、対応が増えているところである。今後も住民の方が気持ちよく手続きできるよう町全体で努めていきたい。

(石川副分科会長)

7-4「庁用車の集中管理による効果的運用」から、計画の取組内容の記載について、どの課についての事なのか判らない箇所がある。表記の改善を求む。

(事務局)

記載不足であった。お詫びしたい。資料については、差し替えたのでご確認願う。

(石川副分科会長)

7-5「公共用地の在り方と備品類の適正管理」について、農産物直売所に関して、以前に売上増加の施策についての際に国道16号からの交差点付近の案内看板の有無について質問し、看板有りとの回答を得た。

現地を探してみたところ、看板はあるがほとんど目立たなくて効果が低い状況である。きめ細かい対応を求める。

(事務局)

看板については、2カ所あり、直売所運営委員会からも話はいただいていると聞いている。看板自体は古いものであり、貴重なご意見をいただいたため、担

当へ会議で話があった旨を報告させていただく。

(石川副分科会長)

質問については、ほとんど納得できる回答だった。今後もよろしく願う。

(中村分科会長)

瑞穂町でのふるさと納税の返礼品はどんなものがあるのか。

(事務局)

43品目と先ほどの説明でお伝えしたが一部を紹介すると、シクラメン、狭山茶、キムチ、ジェラート、最中、工業製品ではゴルフクラブ、けん玉など。以前から駅の構内には工業製品の展示がある。ほかにも農芸高等学校のオリジナル製品詰め合わせなどがある。ポータルサイトに登録したのは11月からであったが、シクラメンの時期であったので、返礼品としてシクラメンが1番多かった。

(中村分科会長)

近隣の市町村と比較して多かったのか、少なかったのか。

(事務局)

実際は羽村市や福生市でも始まった年は少なかったという話を聞いていたため、町は11月からスタートしていたこともあり、100万円行けば多いといえるのではないかという予想をしていた。しかし、実際始まると、1,000万円を超えてきたため、事務が追いつかないほどであり、うれしい悲鳴であった。瑞穂町の特産品を渡すことができたため、町をPRできたと考えている。今度はシクラメンを受け取った人が実際に訪れて買おうか、お菓子を受け取った人が瑞穂はどんなところ？ということに来ていただくという2次効果を狙いたいと考えている。納税という意味もあるが、シティセールスという意味もあるので、やっとその土台に乗れたと思っている。

(中村分科会長)

自分の出身地の農産物を購入するときに、寄付金を兼ねて送ると、お礼状が来る。ふるさと納税というと、返礼品目的の人も多いと思うが、そうでない人もいると思う。瑞穂町に興味関心のある人も結構いるんだなという感想を持った。

(事務局)

コロナ禍の中で、自宅にいる率が上がり、どんな返礼品があるか調べている方が多かったのだと感じた。

(中村分科会長)

ゴルフのクラブがあることに驚いた。

(事務局)

ある一つのメーカーの工場があり、その事業者が町のために提供していただいた。色々な事業者と協力してできた事業であるので、こんな効果があるのかと、私もとてもためになった。

(石川副分科会長)

町の振興策について、以前高麗神社に行った際に、地元のお酒が何段にもなって飾ってあって、瑞穂にもこんなものがあればよいと思った。瑞穂には昔はあったかもしれないが、今は酒蔵も醤油屋もないので、例えば加藤塚を売り出したり、何か振興できると良いと思った。

(事務局)

昔は渋滞情報で、必ず加藤塚の名前が出ていた。それでみんな名前を知っていた。加藤塚は色々な歴史が諸説あり、守っている方も元気なので、何かできれば面白いかもしれない。

(中村分科会長)

私から質問がある。資料3の17ページのスカイホールについて、個別施設計画の見直しの話がある。私は以前スカイホールの振興策について有効利用できるように意見を言わせていただいた。そこでは、稼ぐ施設にするということで、収支を改善させてはどうかという話をした。その時は、維持費・修繕費が年間約1億円かかっており、利用料の収入としては800万円ということだった。とても特徴的な施設であるので、人が来る施設に！と話をし、もう何年前の話か分からないが、企画政策課の方で何か良い方策を考えているのか教えていただきたい。

(事務局)

個別施設計画は令和4年度企画政策課の仕事となった。それぞれ個別施設計画は維持費、修繕費などを計上していく。老朽化にどう対応していくかという方針を作る計画になっている。現時点でこうしますというお話はできないが、委員の思い描く方向に施設計画を作らなければならないと思っている。そのためには、維持管理、利用人数、稼ぐ施設ができるのかといったことまで踏み込んでそれぞれ5年10年先の施設の在り方について考え個別施設計画を策定するという事になっている。

委員が意見していただいたことは記憶に残っている。スカイホールのことを考えていただきありがたく思う。その時に維持管理や歳入を調べたことも記憶にある。

ひとつ、進展があったのは、新庁舎ができた際にスカイホールをどうするのかという議論をさせていただいた。民間に委託するのか、直営にするのか、また、係員がスカイホールに残るのかということが組織検討委員会で検討された。結果として、ご存じのとおり現在は直営での運営となっている。

(事務局)

補足すると、個別施設計画は今年と来年の2か年で策定することとなっている。町内に約90施設があるが、1つ1つのカルテを作成し、修繕など細かいロードマップを作る。また、周辺住民の意見も聞くつもりである。

スカイホールについては、分科会長の話のとおり、ロケーションもよい、施設も良い、雰囲気も良いということがある。今度は令和4年から観光・プロモーション係が新設され、打って出る係ができた。ロケ地として使ってくださいと売り込むことができる。私たちも期待をしている。

(中村分科会長)

私も観光協会に在籍しているので、もっと瑞穂に人を呼んでお金を落とすしてくれたらよい町になるのにと思っている。私は瑞穂に来てから40年になる。先日孫が瑞穂に来たが、スカイホールに行って、富士山が見えることにとても感動していた。初めての人には感動する場所なので、お金になる場所である。ぜひ、スカイホールには頑張ってもらいたいという願望である。

(事務局)

スカイホールの話だが、関東の富士見100景に選ばれている。奥多摩の山々が邪魔をするため、富士山が見えるギリギリはこのあたりということで、写真を録りによく人が来ている。

(関谷委員)

昔、スカイホールを24時間使えるようにしたらどうかという話があった。ホールの設備を使わないのがもったいないので、利用しようということだった。

(事務局)

深夜にリハーサルをやらせてもらって、日中もっと使ってもらえないかという話があったのを記憶している。朝から準備だと日中はあまり使えないため、前倒しにして回転をよくするという話だった。その分修繕費は増えるかもしれないが、考え方の一つである。渋谷公会堂などは回転を良くしているため、黒字となっている。

(中村分科会長)

色々なアイデアがあるが、他にはない斬新な開放の仕方もあるのではないかとということである。

(石川副分科会長)

慰霊塔をのぼると横田基地が見える。それも売りになるのではないかと。

もう一つ、六道山の展望台からの景色があるが、金子の桜山展望台から見るとまた違った景色が連続してつながって見え、また飯能市の天覧山から見るとまた別の景色が見える。その景色がセットにならないかなと思った。

(事務局)

桜台と六道山の展望台は連携の話が良くある。今問題なのは、30年も経つと木の枝が伸び、視野が狭くなっていることである。そういったことについても景観として考えていかなければならないと思う。

(中村分科会長)

19ページの公共用地についての記載があるが、郵便局用地の跡地のことで質問がある。中央体育館の駐車場が狭いのでそこが駐車場ならば良いという話もあった。

瑞穂町は土地が安く、便利な立地のため、そのうち貸しビル会社の土地ばかりになってしまうのではないかと懸念がある。近隣でも物流倉庫が最近増えている。

公共用地の在り方について、瑞穂町の土地利用計画はあると思うが、政策的に町の利益になる土地を確保するようにしてもらいたい。町の機能を集積化したいのに細切れになってしまうのではないかと思ってしまう。

郵便局の跡地に家が建ち、人が増えることは良いとは思いますが、計画的に土地利用することを考えてはどうかと思うことがある。

(事務局)

長期総合計画に新しい体育館の検討が盛り込まれている。今の体育館の場所は、土砂災害警戒区域のエリアになっている。そこに公共がお金を投資して人を集めて良いのかということもある。

避難施設として使う体育館が土砂災害の可能性のある土地で良いのかという話もある。今ある体育館はしばらくは使用することになるが、長期総合計画に記載のある体育館の検討は進めていくことになる。

土地の有効利用の話は仰るとおりである。多摩都市モノレールが入ってくるため、それを核にしたまちづくりを進めることになる。まだはっきり言えないことが多いが、こうした方が良いのではないかということは言っていたら、真摯に受け止めさせていただきたいと思う。

(中村分科会長)

中央体育館は容量が多く、色々な話がある。個人的には、作るならばグローバルスタンダードに準拠した機能を持つ建物にしないと駄目ではないかと思う。

どうせやるならば、東京都に公営のカーリング場を作ればよいのではないか。北海道の1万人の町でもアイスホッケーの施設を持っているところがあるが、全国いたるところから合宿に来る。他と同じことをやっているのは駄目ではないか。

(石川副分科会長)

13ページにRPA、チャットボットなどの言葉が出てくるが、こういうことができればワークライフバランスが充実するのではないかと思う。テレビでAIのアナウンサーが話しているところなどを見ると全く違和感がないので、感心する。町でもAI/RPAが実現できれば、このようになるのかと思うと期待している。

あとは標記の問題だが、PPP/PFIなどの言葉について、インターネットで調べ理解できたが、会議内容を公開するならば説明は必要である。

また、資料に表示が切れていたりおかしい箇所があるので修正をお願いしたい。

(事務局)

申し訳ない。修正し、公開する際には追記を行わせていただく。

(2)その他

(事務局)

今週26日に町長を本部長とした行政改革推進本部会議を開催する。ここで本日委員の皆様いただいた内容を職員に共有し、行政改革に活かしていきたいと考えている。本日と同様の内容を会議で報告する。資料の訂正についてご指摘い



ただいたので、最終的には精査し、広報とホームページにこの資料を載せさせていただきますと考えている。

3 閉会

閉会 午後4時10分